

2024年度（令和 6 年度）逗子市環境基本計画進行管理表

【第 4 章 個別計画施策体系】

所管名： 経済観光課

計画名	逗子市緑の基本計画
取り組みの方向	1 自然を大切にすまち
具体的施策	① 自然の回廊の保全と活用

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

自然の回廊を活用したイベントを複数回支援している。



【現状：2024年度（令和 6 年度末）】

イベントの実施回数は1回であった。

【2024年度の取り組み実績】

事業名	自然の回廊プロジェクト推進事業	事業費（2024年度実績額）	0 円
<p>・市民との協働による新たな活用のイベントとして、身近な野鳥を紹介するウォーキングイベントを開催した。</p> <p>・観光関連イベントとして、市観光協会「逗子旅＋プロジェクト関連ウォーキング」を1回、JR東日本主催「駅からハイキング」「駅からサイクリング」を各1回、計3回の自然の回廊を活用したイベントの開催に協力した。</p>			
事業名	自然の回廊プロジェクト推進事業	事業費（2024年度実績額）	0 円
<p>・「自然の回廊プロジェクト」を推進する市民団体の活動を支援した。</p> <p>・魅力の発信を図るため、自然の回廊の案内板や維持管理及びリーフレット等を配布した。</p> <p>・案内マップの配布や案内板の維持管理等での周知活動に加え、自然の回廊プロジェクトメンバーと協働で作成した展示用回廊マップを体験学習施設スマイルでの常設展示を行った。</p>			

【自己評価】

自然の回廊を活用したイベントの実施は1回のみだったが、市民との協働により逗子の魅力の再発見に繋げることができた。令和 7 年度は複数回の実施に向けて調整をしている。

体験学習施設スマイルに回廊マップを展示することで、若年層やその保護者に自然の回廊について周知ができたほか、自然の回廊に記載のあるスポットへのコメントや、自分だけの魅力スポットを記入して貼りだせるように工夫したことで、市民との協働により新たな魅力の発掘につなげることができた。

【課題の分析と今後のアプローチ】

・観光関連に加え、教育、文化、スポーツ、福祉関連の市民団体等が実施するウォーキングイベント等での活用を働きかけて支援する。

・引き続き魅力の発信を図るため、リーフレット等の配布に努めるほか、市内の史跡等に誰が見ても見やすく、知的興味が得られるよう、案内板や道標の設置整備を進めていく。

2024年度（令和6年度）逗子市環境基本計画進行管理表

【第4章 個別計画施策体系】

所管名： 緑政課

計画名	逗子市緑の基本計画
取り組みの方向	1 自然を大切にするまち
具体的施策	② みどりの保全と緑化の推進

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

公園への花苗の植栽が、年2,500個以上となっている。



【現状：2024年度（令和6年度末）】

公園への花苗の植栽は、合計2,376個であった。

【2024年度の取り組み実績】

事業名	緑化推進事業	事業費（2024年度実績額）	367,200	円
シンボルツリーや生垣の苗木を配布することで、市街地のみどりを増やし、みどり豊かでうるおいのある住環境創出を図った。 →シンボルツリー9件、生垣4件の配布を行い、シンボルツリーの苗木配布数累計は89件となった。				
事業名	苗木等配布事業	事業費（2024年度実績額）	342,914	円
アダプトや自治会の協力により、公園に花苗の植栽を行った。 →花苗配布箇所は16箇所であり、春期1,152株、秋期1,224株（合計2,376株）を配布した。				
事業名	緑地維持管理事業	事業費（2024年度実績額）	14,987,943	円
市有緑地の適正な管理を行うため、伐採等を行った。 →緑地賠償責任保険料1,127,420円、緑地伐採等業務委託（56件）12,310,002円、市民の森（久木6丁目）借地料1,550,521円				
事業名	緑地安全対策事業	事業費（2024年度実績額）	116,330,500	円
市有緑地の崩落を防ぎ市民の安全を確保するため、伐採及び法面防護工事を行った。 →緑地管理伐採業務委託（20箇所）30,998,000円、小坪7丁目地内既設法面保護施設復旧工詳細設計業務委託11,020,900円、緑地法面防護工事等（桜山6丁目など）74,311,600円				
事業名	里山活用事業	事業費（2024年度実績額）	215,707	円
名越緑地を再生し、維持管理や利活用を行うため、里山の環境保全及び学習活動に関するアダプトプログラムを実施した。 →昆虫観察会（計2回）等のため講師謝礼金40,000円、里山維持管理のための消耗品（種、苗、土のう等）購入費149,998円				

【自己評価】

- ・みどり基金を活用して事業の推進に努めた。
- ・ホームページに加え広報ずし4月号に掲載し周知を図った結果、反響が大きく、シンボルツリーと生垣の苗木配布数は前年よりもともに増加し、順調に目標に向かって推移している。
- ・秋季の苗木等配布事業については、公益財団法人の緑化に係る助成金を活用した。
- ・緑地安全対策は、みどり基金及び国の財源（地方債）等を活用し、従来を超える対策ができています。

【課題の分析と今後のアプローチ】

- ・引き続き効果的な方法により周知を図り、実績数の増加を目指す。
- ・今後は、令和6年度開始を目途として事後調査にも積極的に取り組んでいく。
- ・地方債（緊急自然災害防止対策事業債）などを活用し、引き続き安全対策が必要な斜面地対策工事を拡大して実施することで、緑地等崩落の予防保全に努めていく。

2024年度（令和 6 年度）逗子市環境基本計画進行管理表

【第 4 章 個別計画施策体系】

所管名： 緑政課

計画名	逗子市緑の基本計画
取り組みの方向	1 自然を大切にするまち
具体的施策	③ 公園の活用及び維持管理

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

「現在の逗子のイメージ」について、「気軽に行ける公園や広場が整備されている」と回答する人の割合が、過去 5 年の平均で25%以上になっている。



【現状：2024年度（令和 6 年度末）】

21.7%と微増であった。
(令和 5 年度末21.3%)

【2024年度の取り組み実績】

事業名	池子の森自然公園維持管理事業	事業費（2024年度実績額）	5,688,331	円
豊かな自然を次世代につなぐため、自然環境保全に努め、公園の維持管理を適切に行った。 →緑地エリア管理運営業務委託3,355,419円				
事業名	第一運動公園維持管理事業	事業費（2024年度実績額）	5,824,858	円
事業名	披露山公園維持管理事業	事業費（2024年度実績額）	21,229,082	円
事業名	蘆花記念公園維持管理事業	事業費（2024年度実績額）	20,354,476	円
事業名	近隣公園維持管理事業	事業費（2024年度実績額）	38,308,074	円
事業名	街区公園維持管理事業	事業費（2024年度実績額）	42,746,356	円
利用者が安全で快適に利用できるよう、公園の維持管理を適切に行った。 →市民一人当たりの都市公園面積が16.40㎡となった。（令和 2 年度末15.83%）				
事業名	公園アダプト推進事業	事業費（2024年度実績額）	229,827	円
市民が里親となって公園を管理するアダプトプログラムを実施し、協働によるまちづくりを推進した。 →各アダプト団体の維持管理活動（清掃、草刈り等）にかかる消耗品費 229,827円 公園アダプトは85箇所中46箇所（54.1%）で実施中。（前年度と比べ 3 箇所減）				
事業名	—	事業費（2024年度実績額）	—	円
(国営公園の整備推進) 三浦半島国営公園設置に向けて「三浦半島国営公園設置促進期成同盟会」として、県や近隣市町と連携した国営公園整備の促進を国・県に働きかけた。 →三浦半島国営公園設置促進期成同盟会幹事会（対面）及び総会（書面開催）に出席し、三浦半島国営公園設置促進に係る討議に参加した。				

【自己評価】

- ・逗子市公園施設長寿命化計画により遊具等の計画的な修繕を実施した。
- ・上記公園施設長寿命化計画の更新ができていない。

【課題の分析と今後のアプローチ】


逗子市公園施設長寿命化計画を更新し、同計画をベースとして公園ストック再編計画を策定することで、計画的な公園施設の更新や市民ニーズに対応した公園整備を図る。

2024年度（令和 6 年度）逗子市環境基本計画進行管理表

【第 4 章 個別計画施策体系】所管名：都市整備課

計画名	逗子市緑の基本計画
取り組みの方向	1 自然を大切にすまち
具体的施策	④ 河川環境の保全

【数値目標：2029年度（令和11年度）】【現状：2024年度（令和 6 年度末）】

アダプトプログラムにより市民が活動している河川管理の箇所数 6 箇所、親水施設整備 4 箇所		アダプトプログラムにより市民が活動している河川管理の箇所数 4 箇所、親水施設整備 3 箇所
--	---	--

【2024年度の取り組み実績】

事業名	河川維持管理事業	事業費（2024年度実績額）	24,591,600 円
・ 県管理の 2 級河川部分への親水施設等の整備について、自治会等から要望書を受理した。 現在、県が河川管理用通路の整備を行っており、令和 7 年度に完了予定と聞いているため、工事後の親水施設等の整備や利用について、引き続き協議を行った。 ・ 令和 6 年 5 月 25 日にアダプトによる田越川の一斉清掃を実施した。274人が参加し、回収されたゴミの数量は870キロであった			
事業名		事業費（2024年度実績額）	円

【自己評価】

・ 親水施設等の整備については神奈川県と密に連絡を取り合い、状況を確認しているため、進捗としては順調であると思われる。今後は事業化に向けて進めていきたいと考えている。 ・ アダプト団体の一斉清掃については、広報、掲示板やホームページ等で周知をし、昨年度も多くの方に参加していただいた。

【課題の分析と今後のアプローチ】

・ 神奈川県との協議を引き続き行い、事業化に向けて進めていく。 ・ アダプト団体については、周知を行い団体数を増やしていく。

2024年度（令和 6 年度）逗子市環境基本計画進行管理表

【第 4 章 個別計画施策体系】所管名： 経済観光課

計画名	逗子市緑の基本計画
取り組みの方向	1 自然を大切にすまち
具体的施策	⑤ 良好で持続可能な逗子海岸の推進

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

国際環境認証であるブルーフラッグを継続して取得している。



【現状：2024年度（令和 6 年度末）】

ブルーフラッグを継続して取得。令和 7 年度の取得申請を行った。

【2024年度の取り組み実績】

事業名	海水浴場運営事業	事業費（2024年度実績額）	32,308,303	円
○地元の子どもたちを招待して海開き式を開き、66日間の運営を行った。				
○逗子海岸営業協同組合と協働で国際環境認証「ブルーフラッグ」を 3 年連続取得し、SDGsにも合致した環境や安全に配慮した取り組みを推進した。逗子小学校での出張授業などの環境プログラムを協働で実施し、14企画に約1,300人が参加した。				
事業名	海浜美化推進事業	事業費（2024年度実績額）	10,400,381	円
○アダプトプログラムによる海岸一斉清掃については広報や掲示板で周知をし、2024年度10回実施。約1, 060人程の参加があった。				
○かながわ美化財団による海岸清掃を99日実施した。				
○神奈川県に対し、養浜対策の実施要請をした。その結果、当初の計画を上回る投入量となった。				

【自己評価】

○ブルーフラッグの環境教育プログラムや広報活動を重点的に取り組んだ。ブルーフラッグの取得はファミリービーチとしてのブランド力を高めることに大きく貢献している。

【課題の分析と今後のアプローチ】

○持続可能な開発目標「SDG s」にも合致するブルーフラッグを毎年更新することで、多様な関係者が取り組む環境保全の活動の旗印となるとともに、地域住民の海岸への関心を高め、愛着を持つことにもつながると考えるため、今後も関係団体等と連携して推進していきたい。

○ブルーフラッグの出張授業を他の小学校でも実施していく。

○養浜対策について、国及び県へ要望活動を行うことに加え、砂を維持・定着させるための調査研究を行う。

○海岸への排水対策として、海の家排水設備の整備促進に向けて手法や財源確保の検討を行う。

2024年度（令和 6 年度）逗子市環境基本計画進行管理表

【第 4 章 個別計画施策体系】

所管名： 資源循環課

計画名	逗子市一般廃棄物処理基本計画
取り組みの方向	2 廃棄物による環境負荷の少ないまち
具体的施策	① ごみの発生量・排出量の削減

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

市民 1 人当たりのごみ排出量が 1 日当たり 797 g 以下になっている。



【現状：2023年度（令和 5 年度末）】

市民 1 人当たりのごみ排出量が 1 日当たり 771 g

【2024年度の取り組み実績】

事業名	家庭系ごみ排出抑制推進事業	事業費（2024年度実績額）	81,489,437	円
・広報ずし、市ホームページ、生ごみ分別収集・資源化についての市民説明会において、ごみ発生・排出の抑制について周知・啓発を行った。				
事業名	じんかい処理手数料（歳入）	事業費（2024年度実績額）	72,281,250	円
・事業系ごみ処理手数料について、ごみ処理原価と近隣市町の状況を踏まえたごみ処理手数料の適正化を図るため、手数料改定に向けて逗子市廃棄物減量等推進審議会へ諮問し、2024年 3 月に答申を受け、同年 9 月に条例を改正した。広報ずしや市ホームページでの周知の他、逗子市一般廃棄物収集運搬業許可業者、逗子市商店街連合会に個別に周知し、関係事業者への周知の協力を得た。また、逗子市商工会を通じてチラシの配布による周知を図った。2025年 4 月 1 日から改定後の金額（10kg当たり 350円）を適用した。				
事業名	環境づくり・美化推進事業	事業費（2024年度実績額）	1,413,764	円
・散乱ごみ収集運搬業務委託、県市合同の不法投棄パトロール、不法投棄禁止看板の設置等を行った。				

【自己評価】

・目標に向けて順調に推移している。家庭からのごみ排出抑制について周知啓発を実施した。また、事業系一般廃棄物の減量化・資源化を促進する観点から、事業系ごみ処理手数料の改定（値上げ）に向けて取り組んだ。

【課題の分析と今後のアプローチ】

・2029年度まで、ごみの発生・排出抑制と資源物の分別徹底の促進、排出量に応じた負担の公平化及び市民意識の啓発を継続し、市民 1 人当たりのごみ排出量が 1 日当たり 797 g 以下を目指すこととしており、2023年度は目標を達成した。さらなるごみの発生量・排出量の削減に向けて取り組んでいく。

2024年度（令和 6 年度）逗子市環境基本計画進行管理表

【第 4 章 個別計画施策体系】所管名：資源循環課

計画名	逗子市一般廃棄物処理基本計画
取り組みの方向	2 廃棄物による環境負荷の少ないまち
具体的施策	② 生ごみの減量化・資源化の推進

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

家庭用生ごみ処理容器等の助成件数が延べ9,010件以上になっている。



【現状：2024年度（令和 6 年度末）】

家庭用生ごみ処理容器等の助成件数が延べ8,425件となった。

【2024年度の取り組み実績】

事業名	生ごみ処理容器等購入費助成事業	事業費（2024年度実績額）	8,692,763	円
<p>・家庭用生ごみ処理容器等の助成制度について、市ホームページ、広報ずしによる周知、生ごみの分別収集・資源化についての市民説明会でチラシの配布を行い、普及促進を図った。</p> <p>・助成制度をより適正に運用するため、電動式生ごみ処理機については、耐用年数を考慮し、助成金の交付決定を受けた年度の翌年度から5年が経過した後に、再度電動式生ごみ処理機の申請を可能とすること、非電動式生ごみ処理容器、電動式生ごみ処理機ともに申請期限は購入後1年以内とすることについて、逗子市廃棄物減量等推進審議会の意見聴取を行い、2025年1月にパブリックコメントを実施した。2025年4月1日から要綱を改正した。</p>				
事業名	（生ごみの分別収集・資源化）	事業費（2024年度実績額）		円
<p>・生ごみの分別収集・資源化に向けた取り組みとして、地方自治法に基づく事務委託を葉山町に行うため、事務委託議案を提案し令和5年逗子市議会第3回定例会において可決された。2025年3月から家庭系生ごみの分別収集・資源化の実施を予定し、生ごみの分別収集・資源化の方法等について各地域で市民説明会を開催し広く周知を図っていたが、葉山町の生ごみ資源化処理施設の工期の延長に伴い、開始時期を延期した。</p>				

【自己評価】

生ごみの分別収集・資源化についての市民説明会において、生ごみ減量化に向けて生ごみ処理容器等による自家処理の促進について周知啓発を図った。また、集合住宅等の非電動式の家庭用生ごみ処理容器等の使用が困難な家庭における生ごみの自家処理の促進を図るため、2023年度から電動式生ごみ処理機も助成対象とした。これらの取り組みにより助成件数が大幅に増加し、生ごみの自家処理の普及拡大につながった。

【課題の分析と今後のアプローチ】

家庭用生ごみ処理容器等による自家処理により生ごみの減量化を進めるため、引き続き、チラシや市ホームページ、広報ずし等により当該助成制度の周知を図り、2029年度までに家庭用生ごみ処理容器等の助成件数が延べ9,010件以上を目指す。

2024年度（令和 6 年度）逗子市環境基本計画進行管理表

【第 4 章 個別計画施策体系】所管名：資源循環課

計画名	逗子市一般廃棄物処理基本計画
取り組みの方向	2 廃棄物による環境負荷の少ないまち
具体的施策	③ 安心・安全で持続可能な廃棄物処理システムの構築

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

環境クリーンセンター焼却施設長寿命化計画を策定し、計画的な維持管理を行い、年間20,000 t の焼却処理を行っている。



【現状：2024年度（令和 6 年度末）】

葉山町可燃ごみ全量を受入れ共同処理を実施した。2025年 4 月から鎌倉市の可燃ごみの一部を受入れ広域処理を開始するにあたり、2024年度（7 月、9 月、10 月、3 月）に試行搬入を行い、計733 t を受け入れ、検証を行った。

【2024年度の取り組み実績】

事業名	（環境クリーンセンター焼却施設長寿命化計画の策定）	事業費（2024年度実績額）	円
・焼却施設の定期補修工事を実施したほか、設備機器の劣化状況に基づいた計画的な整備（補修、交換等）を行った。			
事業名	（民間委託の計画的な推進）	事業費（2024年度実績額）	円
・一般廃棄物収集・運搬業務委託、焼却灰の資源化業務委託等について、役割分担を明確にし、計画的に推進した。			

【自己評価】

順調に進捗していると考えている。

【課題の分析と今後のアプローチ】

鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画において、ごみ処理施設の整備方針を整理しており、第 2 期（2025年度～2029年度）は、逗子市の焼却施設に葉山町の可燃ごみ及び鎌倉市の可燃ごみの一部を、年間20,000 t の範囲で集約し、焼却する計画としている。環境クリーンセンター焼却施設長寿命化計画に基づき、施設保全の適正な実施・運用により、施設の機能低下を抑制し、施設の延命を図っていく。

2024年度（令和 6 年度）逗子市環境基本計画進行管理表

【第 4 章 個別計画施策体系】

所管名：資源循環課

計画名	逗子市一般廃棄物処理基本計画
取り組みの方向	2 廃棄物による環境負荷の少ないまち
具体的施策	④ 紙ごみの減量化・資源化の推進

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

燃やすごみに含まれる紙ごみが36.7%以下になっている。



【現状：2024年度（令和 6 年度末）】

燃やすごみに含まれる紙ごみ：35.1%
※生ごみ分別収集実施前の組成

【2024年度の取り組み実績】

事業名	資源再利用推進事業	事業費（2024年度実績額）	28,802,590	円
生ごみの分別収集・資源化についての市民説明会の中で、燃やすごみを減らすために資源化できる紙ごみの分別徹底について周知を図った。				
事業名		事業費（2024年度実績額）		円

【自己評価】

生ごみ分別収集実施前の燃やすごみに含まれる紙ごみの割合としては、進捗の遅れが見られるが、概ね順調である。

【課題の分析と今後のアプローチ】

紙ごみの分別排出が徹底され、減量化・資源化が促進されるよう周知啓発を進めることにより、2029年度までに燃やすごみに含まれている資源化できる紙類の混入3割減を目指す。

2024年度（令和 6 年度）逗子市環境基本計画進行管理表

【第 4 章 個別計画施策体系】

所管名： 資源循環課

計画名	逗子市一般廃棄物処理基本計画
取り組みの方向	2 廃棄物による環境負荷の少ないまち
具体的施策	⑤ 資源化品目の拡大

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

資源化率が61.4%以上になっている。
最終処分率が0.3%以下を維持している。



【現状：2023年度（令和 5 年度末）】

資源化率：44.9%
最終処分率：0.4%

【2024年度の取り組み実績】

事業名	（資源化効率の向上）	事業費（2024年度実績額）	円
製品プラスチック、紙おむつ等の新たな資源化品目の追加について、他自治体や国の動向等を見据え、民間への業務委託について継続して検討した。			
事業名	（ごみと資源物の分別方法の意識啓発の推進）	事業費（2024年度実績額）	円
生ごみの分別収集・資源化についての市民説明会の中で、ごみの減量化・資源化の推進について説明し、分別徹底について周知を図った。逗子市廃棄物減量等推進員や自治会・町内会に対し、資源回収ネット容器の使用について引き続き周知を進め、資源物の回収促進を図った。			

【自己評価】

2023年度実績について、目標達成に向けて概ね順調に資源化率が向上しているものと考えている。
2024年度は生ごみの分別収集・資源化を開始する計画としていたが、開始時期の延期により資源化率の進捗に遅れが出ている。

【課題の分析と今後のアプローチ】

・2029年度までに、①～④に取り組み、資源化率：61.4%以上、最終処分率：0.3%以下を維持する。
①焼却灰の安定的な資源化処理の確立を図る、②最終処分する不燃残渣を最小化するための資源化品目の拡大と資源化効率の向上を図る、③燃やすごみの約15%を占める植木剪定枝について、環境クリーンセンターでの処理、粉碎車両の活用及び民間処理委託により、焼却処理をせずに全量資源化を図る、④製品プラスチック、紙おむつ等、新たな資源化品目の追加について、国の動向を見据えて継続して検討する。

2024年度（令和 6 年度）逗子市環境基本計画進行管理表

【第 4 章 個別計画施策体系】

所管名： 資源循環課

計画名	逗子市一般廃棄物処理基本計画
取り組みの方向	2 廃棄物による環境負荷の少ないまち
具体的施策	⑥ ごみ処理の広域連携の推進

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

鎌倉市の可燃ごみの一部を受入れ広域処理を行っている。
葉山町の生ごみ資源化処理施設での生ごみ資源化共同処理を行っている。



【現状：2024年度（令和 6 年度末）】

2025年 4 月から鎌倉市の可燃ごみの一部を受入れ広域処理を開始するにあたり、2024年度（7 月、9 月、10 月、3 月）に試行搬入を行い、計 733 t を受け入れ、検証を行った。

【2024年度の取り組み実績】

事業名	家庭系ごみ排出抑制推進事業	事業費（2024年度実績額）	81,489,437	円
生ごみの分別収集・資源化に向けた取り組みとして、地方自治法に基づく葉山町への事務委託を行うため、事務委託議案を提案し令和 5 年逗子市議会第3回定例会において可決された。2025年 3 月から家庭系生ごみの分別収集・資源化の実施を予定し、生ごみの分別収集・資源化の方法等について各地域で市民説明会の開催し広く周知を図っていたが、葉山町の生ごみ資源化処理施設の工期の延長に伴い、開始時期を延期した。				
事業名	じんかい処理手数料（歳入）	事業費（2024年度実績額）	72,281,250	円
・地方自治法に基づく事務委託により鎌倉市の可燃ごみの一部を逗子市が受け入れ、共同処理を開始するため、令和 6 年逗子市議会第 4 回定例会に事務委託議案を提案し可決された。 ・円滑に共同処理を開始するため、2024年度に試行受入れを通して、搬入ルート、搬入時間などの検証を行い、鎌倉市と十分に調整を図った。また、2024年 6 月に鎌倉市からの可燃ごみ試行受け入れに関する市民説明会（池子会館、市役所）を開催する等、市民周知を図った。				

【自己評価】

鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画のスケジュールに基づき、2025年 3 月から葉山町の生ごみ資源化処理施設での生ごみ資源化共同処理を行う予定としていたが、葉山町の生ごみ資源化処理施設の工期の延長に伴い開始時期を延期したため、進捗に遅れが出ている。2025年 4 月から鎌倉市の可燃ごみの一部を受入れ広域処理を開始するにあたっては、2024年度に試行受入れを通して検証を行い、市民周知を図る等、順調に進捗している。

【課題の分析と今後のアプローチ】

2025年 4 月から鎌倉市の可燃ごみの一部を逗子市が受け入れ、共同処理を開始する。
生ごみの分別収集・資源化については、葉山町と工事進捗等の状況の確認を継続して行っていく。開始に当たっては、ごみ処理負担金の協議が調った後、補正予算の議決を得て契約行為や市民説明会の開催、指定ごみ袋の流通等の準備が必要となる。

2024年度（令和 6 年度）逗子市環境基本計画進行管理表

【第 4 章 個別計画施策体系】所管名：環境都市課

計画名	逗子市地球温暖化対策実行計画
取り組みの方向	3 カーボンニュートラルを実現するまち
具体的施策	① 2050年カーボンニュートラル実現の推進

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

市内の電力を使用するすべて市所有（管理）施設において、再生可能エネルギー100%の電気を導入する。



【現状：2024年度（令和 6 年度末）】

16施設（68.6%）

【2024年度の取り組み実績】

事業名	カーボンニュートラル推進事業	事業費（2024年度実績額）	14,662,059	円
<p>・東京ガスと「カーボンニュートラルのまちづくりに向けた包括連携協定」と締結した。 （締結後の実績：環境教育「エネチャレ」実施（11/1）、職員研修「カーボンニュートラル入門講座」実施（2/14））</p> <p>・ずしグリーンライフフェス（6/22・6/23）を開催した。</p> <p>・かんきょう講演会（2/23）を開催した。</p> <p>・カーボンニュートラル推進補助金を交付した（交付額：6,635,000円）。</p> <p>・令和 5 年度に実施した太陽光発電設備導入可能性調査の結果に基づき、逗子小学校における太陽光発電設備を更新することとし、契約するPPA事業者を公募型プロポーザル方式事業者選考にて選出した。</p> <p>・公用車 2 台の車検満了に伴い、電気自動車への切り替えを実施した。</p>				
事業名		事業費（2024年度実績額）		円

【自己評価】

市所有（管理）施設全体の電力使用量における再生可能エネルギーの使用量の割合については、逗子小学校における太陽光発電設備導入予定や、逗子文化プラザホール指定管理者の仕様書において「再生可能エネルギー100%電気の導入」を記載する等、再生可能エネルギーの使用機会を増やす動きもあり、概ね順調と評価する。

【課題の分析と今後のアプローチ】

これまでは市所有（管理）施設の中でも高圧施設を優先的に対象として、再生可能エネルギー100%の電力切り替えを検討・実施している。今後は小規模施設などの低圧施設について、順次再生可能エネルギー100%電力切り替えを検討していきたい。

2024年度（令和 6 年度）逗子市環境基本計画進行管理表

【第 4 章 個別計画施策体系】

所管名： まちづくり景観課

計画名	景観計画推進プラン
取り組みの方向	4 暮らしと景観に配慮したまち
具体的施策	① 景観まちづくりの推進

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

景観啓発冊子「まちなみデザイン逗子」を活用した啓発活動を年 3 回以上実施する。



【現状：2024年度（令和 6 年度末）】

景観啓発冊子「まちなみデザイン逗子」を活用した啓発活動を年 5 回実施した。

【2024年度の取り組み実績】

事業名	景観まちづくりの推進	事業費（2024年度実績額）	993,907	円
・ 景観まちあるき ・ 逗子葉山高校模型製作ワークショップ ・ 逗子環境展展示 ・ 市制70周年記念景観シンポジウム 来場者68名 展示来観者220名 ・ 逗子トモイクフェスティバル展示				
事業名		事業費（2024年度実績額）		円

【自己評価】

逗子らしい特徴を持った美しいまちなみを育てるため、市民協働で作成した景観啓発冊子「まちなみデザイン逗子」を景観誘導ツールとして活用し、イベントやワークショップを積極的に行った。

令和 6 年度は節目として、景観条例に基づき「まちなみデザイン逗子」表彰制度を実施し、市制70周年記念景観シンポジウムにおいて表彰式を行った。またシンポジウムの前後の期間で、「第 2 回まちなみデザイン逗子賞」とその他の逗子市の景観に関する資料の展示を行い、多くの方に観賞してもらうことができた。

【課題の分析と今後のアプローチ】

課題となるイベントの実施回数と内容においては、さらなる啓発のため市民交流センターと共催で、景観学習ワークショップを検討する。